

## 看護連盟だより57号に寄せてご挨拶



栃木県看護連盟会長  
坂主リツ

栃木県看護連盟の皆様、残暑お見舞申し上げます。日頃より看護連盟への御支援、ご協力をいただきありがとうございます。

この度、会員の皆様のお力でたかがい議員が2期目の当選をすることができました。超多忙な中にも必死で「看護の問題…健康・福祉・待遇改善・教育等」はもとより「女性の包括的支援」という女性の一生に係わる大きな問題に立ち向かう凛々しい議員として、決意を持って、精力的に選挙運動をされました。たかがい議員の今後の活躍を期待しています。

選挙の結果、課題も頂きましたので皆で次の時に備えて心して取り組みたいと考えております。

会員一人一人が選挙に行くという意識を持つ事、そして候補者と身近に会う機会を多くする努力をしていきたいと考えております。

また、看護協会の政策提言を実現するために、国政に一人でも多くの代表を送るとい看護連盟の使命を持続するためにも、今まで以上に看護協会と連携を密にしていきたいと思います。



栃木県看護協会会長  
渡邊カヨ子

私は、6月の栃木県看護協会総会において会長に就任いたしました渡邊力ヨ子でございます。看護連盟会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

又、去る7月の参議院選挙においては、自民党比例区のとかがい恵美子氏の当選、誠におめでとうございます。看護連盟の事務局をはじめ、各施設における個々の活動が功を奏したと思います。皆様に心より敬意を表したいと存じます。

我々看護職は、ややもすると目先の業務や生活に追われ、政治や経済に関して無頓着になりがちだと思います。しかしながら看護職が、自身と誇りを持って生き生きと働き続けるためには、様々な政策を国に要望しなければならない現状があります。

そのためには、看護職能の議員を国会に送ることは我々の責務といえます。

看護協会会長として、このことを念頭に置きながら看護連盟と連携をしつつ進んで参りたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



日本看護連盟会長  
草間朋子

この度の選挙では、たかがい恵美子さんを、無事、2期目の参議院議員として国政の場に送ることができました。これも、猛暑の続く中、全力投球でがんばっていただきました栃木県看護連盟をはじめとした各都道府県の連盟のみなさまのご尽力の賜物であると心からお礼申し上げます。たかがいさんには、選挙公約に掲げた3つの重点課題はもとより、看護の代表・女性の代表として国民、看護職のために活躍していただけるよう、連盟としてもしっかり支援してまいります。

今回の選挙では、6つの医療福祉関連団体がそれぞれ候補者を擁立したことなども関係し、当初、目標に掲げた得票数を獲得することができませんでした。この結果を真摯に受け止め、組織固めをし、会員のみなさまの投票行動を促すことを徹底し、看護の力をしっかり結束していかなくてはならないことを痛感しているところです。次回の選挙に向けて納得のできる結果を出すために、今から気を引き締めてまいります。